

産業標準化推進月間事業

標準化と 品質管理

東北地区大会 2024

経済産業省では毎年10月を「産業標準化推進月間」と定め、各地方経済産業局とともに、全国的に産業標準化の普及・啓発に関する各種の行事を展開しています。その結果として、各組織に標準化が定着し、技術の向上や生産の効率化に大きな成果をあげてまいりました。「標準化と品質管理 東北地区大会」はこの普及活動の一環として、経済産業省 東北経済産業局、及び関係団体のご支援のもと、本年度は裏面のプログラムにて開催いたします。JIS認証組織やISO登録組織の方々はもとより、標準化と品質管理を推進しようとする企業の方々のご参加をお待ち申し上げます。

10月31日(木) 13:00~16:40
仙台市中小企業活性化センター

主催：一般財団法人 日本規格協会 東北支部
後援：経済産業省 東北経済産業局
JIS 登録認証機関協議会
日本クオリティ協議会

お申し込みされた方は、後日、全国大会の講演アーカイブ動画を無料でご視聴いただけます。

プログラム

13:00-13:10 開会挨拶 一般財団法人日本規格協会

13:10-13:20 日本規格協会グループの活動と新たな取り組み(仮) 同上

講演

13:20-14:00 (仮)「日本型標準加速化モデル」
の実現に向けて経済産業省
イノベーション・環境局
基準認証政策課 課長補佐
岡野 佑香

グローバル市場の変化を踏まえ、標準化活動は、経営戦略と一体的かつ能動的に取り組むことがこれまで以上に重要となっています。政府としても「日本型標準加速化モデル」(2023年6月)にて官民各主体の取組方針を示し、具体的な施策を推進してきたところです。本講演では、これまでの政府の取組の進捗をご紹介しますとともに、今後の展望についてお話しします。

14:00-14:10 休憩

特別講演

14:10-15:10 ヒューマンエラー対策
ヒヤリ・ハットが報告しやすい職場をつくる極意日本プロフェッショナル講師協会
認定講師
瀬川 文子

ヒューマンエラーの原因は多岐に渡りますが、その中でもコミュニケーションの齟齬から発生するものは少なくありません。まずはヒヤリハットのような小さなミスや失敗も話しやすいような職場の空気感が大切です。心理的安全性は、生産性だけでなくミスを防ぐためにも重要な要素です。日常から話しやすい関係性を作るためには積み重ねの対話が欠かせません。相互理解に必要なコミュニケーションの極意をお伝えします。

15:10-15:20 休憩

講演

15:20-16:30 JISマーク表示制度
～指摘事項・よい事例等、最新審査情報～JIS登録認証機関協議会
一般財団法人 日本塗料検査協会
性能評価部 部長代理
櫻井 剛

原材料調達や価格高騰、気候変動、労働時間規制、デジタル化への対策など、製造業をとりまく環境は大きく変化しております。JIS認証工場は、効率化を進めつつ、JISマーク製品の信頼性を確保し、品質を維持向上することが求められています。認証審査の現場での事例をご紹介します。適切な品質管理の維持に向け、その糸口となる情報を提供します。

16:30-16:40 閉会挨拶 一般財団法人日本規格協会

報文集は紙での提供をいたしません。必要な方はダウンロード・印刷してご持参ください。

一般申込	
11,000円(税込)	
維持会員の方	
ご加入1口につき1名様	無料 ※8月上旬頃にご招待のご案内をいたします。
口数以上のお申込	5,500円(税込) / 1名様

※有料のお申込の場合は、請求書をお送りしますので、請求書に記載の日にちまでにお振込ください。尚、欠席された場合にも原則として返金はいたしませんので、予めご了承ください。

会場

仙台市中小企業活性化センター 多目的ホール
宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER5階

アクセス

- JR 「仙台駅」西口出口より徒歩2分
- 地下鉄 「仙台駅」徒歩3分

公共交通機関でのご来場にご協力をお願いいたします。

お申込はWEBで

SQ 大会 2024

検索

<https://www.jsa.or.jp/>